

防大総第 8 2 5 号

平成 4 年 9 月 1 8 日

各 部 長
学術情報センター長 殿
各 学 群 長

防衛大学校長

本科学生のジャンパー及びセーターの製式等について（通達）

改正 平成 9 年 3 月 17 日防大総第 233 号 平成 12 年 4 月 1 日防大総第 339 号

平成 19 年 1 月 9 日防大総第 7 号

標記について、防衛大学校学生服装細則（平成 4 年防衛大学校達第 1 号）

第 1 0 条の規程に基づき、下記のとおり定めたので通達する。

記

製式及び地質は、別表のとおりとする。

別表

ジャンパー及びセーターの製式及び地質等

ジャンパー	地質	淡紺青色の化学繊維織物、綿織物又はこれらの混紡織物若しくは交織織物に防水加工したものとする。	
	製式	襟	半月型立ち襟とする。淡紺青色のゴム編み2重仕立てとする。
		前面	中央にファスナーを1行つける。 両脇に斜め隠しポケットをつけ、裾は淡紺青色のゴム編み2重仕立てとする。
		そで	長そでとし、左そで上部にともぎれの鉛筆差ポケット1個をつけ、そで口は淡紺青色のゴム編み2重仕立てとする。
		形状は、図のとおりとする。	
セーター	地質	紺色又は白色の毛織物とする。	
	製式	襟	Vネックとする。ゴム編み仕立てとし、地質が紺色の場合は白色の、地質が白色の場合は紺色の2条の線を編み込む。
		前面	ゴム編み仕立てとする。胸部の左には飾章をつける。すそに地質が紺色の場合は白色の、地質が白色の場合は紺色の2条の線を編み込む。
		そで	長そでとする。ゴム編み仕立てとし、合成皮革製のひじあてをつける。そで口に地質が紺色の場合は白色の、地質が白色の場合は紺色の2条の線を編み込む。
		形状は、図のとおりとする。	

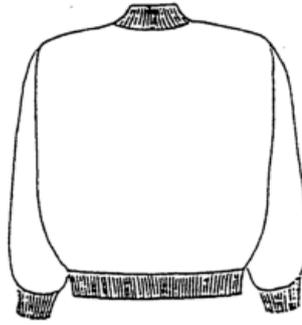
☒

ジャンパー

(前面)



(後面)

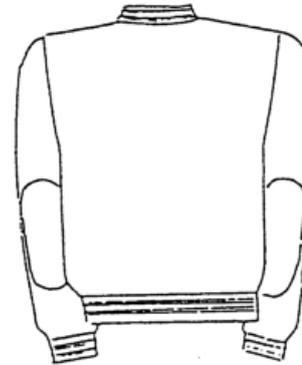


セーター

(前面)



(後面)



飾章

